



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三和倉庫株式会社横浜事業所医薬品対応定温自動倉庫新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県横浜市緑区上山1丁目325番1の一部、他6番	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	10 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年8月21日
敷地面積	5,367 m ²	作成者	岡田 広司
建築面積	2,312 m ²	確認日	2024年8月28日
延床面積	3,915 m ²	確認者	辻川 立史



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 3.0 3.0 1.5 BEE=1.0 100 50 0 38 1.2 31 0 50 100 環境負荷 L	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 0 46 92 138 184 230 276 (kg-CO ₂ /年・m ²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0 5 4 3 2 1 N.A. N.A. N.A. N.A. 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5 5 4 3 2 1 N.A. 2.8 4.3 機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.7 5 4 3 2 1 1.0 2.0 2.0 生物環境 まちなみ 地域性・	Q のスコア= 2.5
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2 5 4 3 2 1 N.A. 3.0 5.0 3.0 建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1 5 4 3 2 1 3.0 3.1 3.3 水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.7 5 4 3 2 1 4.8 3.3 3.0 地球温暖化 地域環境 周辺環境	LR のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 [壁長さ比率] <0.1 床荷重: 15000N/m ²	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称

三和倉庫株式会社横浜事業所医薬品対応定温自動倉庫新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 100 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2024年8月30日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

— —



CASBEE横浜2022年版v.1.2

三和倉庫株式会社横浜事業所医薬品対応定温自動倉庫新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>		<集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							-		-	2.5
Q1 室内環境							-		-	-
1 音環境						-	-	-	-	-
1.1 騒音						-	-	-	-	-
1.2 遮音						-	-	-	-	-
1		開口部遮音性能				-	-	-	-	-
2		界壁遮音性能				-	-	-	-	-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-
1.3 吸音						-	-	-	-	-
2 温熱環境						-	-	-	-	-
2.1 室温制御						-	-	-	-	-
1		室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2		外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	-	-	-	-	-
3		ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御				快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.3 空調方式				快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
3 光・視環境						-	-	-	-	-
3.1 昼光利用						-	-	-	-	-
1		昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
2		方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3		昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3.2 グレア対策						-	-	-	-	-
1		昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3.3 照度				快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3.4 照明制御				快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
4 空気質環境						-	-	-	-	-
4.1 発生源対策						-	-	-	-	-
1		化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
4.2 換気						-	-	-	-	-
1		換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2		自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
3		取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
4.3 運用管理						-	-	-	-	-
1		CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2		喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能						-	0.43	-	-	3.5
1 機能性						-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	-	-	-
1		広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
2		高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3		バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性						-	-	-	-	-
1		広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
2		リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3		内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
1.3 維持管理						-	-	-	-	-
1		維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
2		維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性						2.8	0.50	-	-	2.8
2.1 耐震・免震						3.0	0.50	-	-	-
1		耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2		免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数						2.8	0.30	-	-	-
1		躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
6		主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性						2.4	0.20	-	-	-
1		空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2		給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
3		電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4		機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5		通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性						4.3	0.50	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり						5.0	0.30	-	-	-
1		階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-
2		空間の形状・自由さ				5.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり						5.0	0.30	-	-	-
3.3 設備の更新性						3.4	0.40	-	-	-
1		空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
2		給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-
3		電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-
4		通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-
5		設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-

CASBEE®横浜 | 評価結果 | 6-046



CASBEE横浜2022年版v.1.2

三和倉庫株式会社横浜事業所医薬品対応定温自動倉庫新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート				実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目				<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.57	-	-	-	1.7	
1 生物環境の保全と創出				地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	-	3.7	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制				省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用				省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.13	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.63	-	-	-	5.0	
4 効率的運用						3.0	0.25	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	-	3.1	
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	-	3.0	
1.1 節水						-	-	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	1.00	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						3.1	0.60	-	-	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減						2.0	0.11	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.22	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						3.0	0.22	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						3.0	0.22	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						-	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						4.0	0.22	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.3	0.20	-	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.5	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤						-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)						4.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒						3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	-	3.7	
1 地球温暖化への配慮						4.8	0.33	-	-	-	4.8	
2 地域環境への配慮						3.3	0.33	-	-	-	3.3	
2.1 大気汚染防止						5.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.2	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減						3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制						2.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						1.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音						3.0	1.00	-	-	-	-	
2 振動						-	-	-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制						1.0	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目							-	-	-	-	-	
<事務用途>							-	-	-	-	-	
知的生産性向上への取組				快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	
<住宅用途>							-	-	-	-	-	
健康と安心							-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策				健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画				健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策				健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)				健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-	